

3. 筋ジス病棟における女子患者の看護

国立新潟療養所

井 沢 フ ミ	高 野 道 子
若 槻 真利子	野 中 政 子
赤 沢 信 子	近 藤 すみ子
清 水 恒 子	外 山 友 子
小 林 絵々子	小 尾 京 子

他病棟一同

私達の病棟には、多数の男児の中に6名の女子患者がいる。病棟生活における男女の相対的影響を配慮しつつ、病的変化との対応の中で、特に思春期を迎えて、男子とは違った面での問題を取り上げ、適切な援助と指導法を検討してみた。

日常生活の中で問題になる事柄の中から、

1. 病室の収容に関する配慮
2. トイレの使用について
3. 入浴に際して
4. 衣 服

について工夫、改良を試みた。

開放性構造になっている病棟での集団生活の中で、問題点

- 1) 女子の思春期における心身の変化と羞恥心のあらわれ
- 2) 男子の女子に対する関心や興味のあらわれ

等から、病室、トイレ、入浴場での男女の区画は不可決の課題となった。

1. 病室の収容

もちろん理想的には、男女別に収容できればよいが、病棟の構造や、人数、障害度等の関係で無理があり、取付け容易、割安な方法であるカーテンを利用した。

改 良 点

- 1) 女子専用部屋には入口及各ベット間にカーテンの取付け
 - 2) 男女混合部屋においては、ベッド間に仕切りカーテンをつけ、必要時使用、不要の時は上げておく。
2. トイレについては

思春期を迎える患児が半数以上おり、男女別のトイレが理想であるが、従来のスペースの中で、有効な区画と使用法を検討した。

改 良 点

- 1) 奥の洋式と埋込式の2ヶを女子専用とし、地厚、濃い色のカーテンを取付け朝食後の一斉混雑時以外は男子の使用を禁じ、歩行、這行中の女子が使用する。
- 2) 車椅子生活児は、トイレの通路一隅に診断用ベッドを置き、カーテンで仕切り、更に女子トイレ側通路入口にもカーテンを引き、使用中の通行を禁じる。

入浴時は

- 1) 浴室続きの脱衣場入口にカーテンを引き、廊下と隔てる。
- 2) 男女別に入浴させる。
- 3) 入浴介助は、女子職員のみで行う。

1. 2. 3.の成果

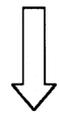
- 1) 男子の視線を防ぎ、刺激を最小限にくい止められると思われる。
- 2) 女子も安心して更衣、排泄、入浴等の行為が出来、介助も容易である。
- 3) 女子に生活々動面での協調性が出て来た。

4. 衣 服

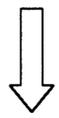
運動機能低下する筋ジス児の衣服は、伸縮のある生地で、ゆったり仕立てで、着脱容易であること。市販の既制衣類では身体によく適合せず、又介護操作も困難な為、改良型を作製用いている。特に脊椎側弯強度な障害度8、19才の女子患者に対し巻きスカート及ジャンパースカートを作製使用し、好結果を得ている。

〔成 果〕

現在では、身体に適合して着心地良く、上着に流行や変化をつけて、このスカートと組み合わせることにより、患児に満足感がみられ職員側からは、着脱、排泄等の介護操作が容易となった。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



私達の病棟には、多数の男児の中に6名の女子患者がいる。病棟生活における男女の相対的影響を配慮しつつ、病的変化との対応の中で、特に思春期を迎えて、男子とは違った面での問題を取り上げ、適切な援助と指導法を検討してみた。